



まなべ ようこ  
真鍋陽子議員

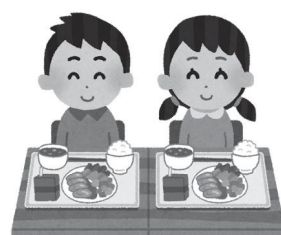
**移住・定住・関係人口を意識した  
市内の景観や市庁舎について問う**

**議員** 笠岡駅を、尾道駅や日立駅のように海沿いの景観を生かした駅にする考えはあるか。

**建設部長** 令和4年度に駅の構想の基本設計を行う予定である。尾道駅も参考にしたいと考えている。

**議員** 議員就任前から、定住促進センター横のトイレの整備について指摘している。市内の看板が薄れていたり、庁舎の窓やブラインドが汚れていたり、移住希望者から見て、整備されていると思える庁舎になっていないのは問題である。市長の考えをたずねる。

**市長** 完全に同意する。限りある予算の中で一つ一つ丁寧にしつかりと直し、市外から来られた方を温かく迎えらるよう整備したい。



**学校・幼稚園・認定こども園に  
おけるオーガニック給食について問う**

**議員** 昨年12月10日に、給食でオーガニック食材を使用したのが、来年度は使用する計画があるか。

**教育部長** オーガニック食材の使用を考えたいが、供給量の確保が難しい。減農薬、低農薬の食材や、笠岡産、岡山県産の食材を利用していきたいと考えている。

**こども部長** 認定こども園、保育所においては、栄養士や調理師の意見を聞きながら、情報収集をしていきたい。

**教育長** 自校調理している島しょ部の給食で使用可能か検討したい。

※他、イノシシ肉や新山産ハト麦みそを給食献立で提供できないか等多数質問した。



にしな ふみひで  
仁科文秀議員

**増える一人暮らしに  
対応した支援の拡充を！**

**議員** 本市における一人暮らしの現状と、持病やかかりつけ医等の情報を記載した用紙を冷蔵庫に保管する「いのちのバトン」の取組の現状と課題についてたずねる。

**健康福祉部長** 令和2年の国勢調査では、本市における65歳以上の一人世帯は3003世帯であり、65歳以上の方がいる世帯の約30%を占める。いのちのバトンは、平成22年度に社会福祉協議会が一人暮らしの高齢者約1600世帯に配布し、現在は障がい者等にも対象を広げている。課題は、いのちのバトンを冷蔵庫で保管できていない、医療情報等必要な情報が記載できていない事例が増えてきたことである。高齢者のみの世帯が増えることが予測される中、重要な取組と考えている。



**笠岡でぜひ  
二地域居住の推進を！**

**議員** 都市部に生活拠点を残し、週末等は地方で暮らすライフスタイルの二地域居住について、本市の考えと今後の取組をたずねる。

**政策部長** 県では、担い手不足の解消や地域の活力低下の解消、将来的な移住・定住に繋げるため、二地域居住に向けた取組を実施しており、本市も関係人口創出のため協力している。市独自には、サテライトオフィス等開設サポート補助金事業等を実施する予定である。

**議員** 国土交通省は、令和12年には潜在的な二地域居住人口を1080万人にしたいとの考えを示している。災害が極めて少ない等、笠岡は成功する要因が多い。しっかりとPRしていただきたい。